輩ママ〝養成へ

訪問支援をコーディネートする団体の担当者らが参加した研修会　＝15日、山形市・ヒルズサンピア山形

子育て家庭をボランティアで訪問して母親たちに寄り添う〝先輩ママ〟（ホームビジター）を養成する講座が23日の新庄市を皮切りに県内4地区で始まる。県の「先輩ママの家庭訪問支援モデル事業」の一環で、県の委託を受けて訪問をコーディネートする県内4団体は養成講座の参加者と、訪問支援の利用家庭を募集している。

イギリスで生まれ、日本ではNPO法人「ホームスタート・ジャパン」（東京）が普及活動をしている家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」をモデルとした事業。子どもの数が多かったり、転居したばかりで自宅にこもりがちな母親を支援する取り組み。基本的に6歳以下の子どもがいる家庭を先輩ママが週1回のペースで2時間程度訪問し、話しする

県内4地区　新庄皮切り　23日から講座

県の委託を受けているのは▽NPO法人やまがた育児サークルランド（山形市）▽NPO法人はぐくみ保育園（新庄市）▽NPO法人にこっと（酒田市）▽NPO法人スマイルハウス（米沢市）―の4団体。13～15日には各団体の担当者が集まり、ホームスタートの概略や理念をはじめ、訪問支援を利用する家庭のニーズの把握や、先輩ママにアドバイスする際の注意点などを学んだ。

先輩ママの養成講座の日程は各団体で異なるが、いずれも計8回。8月上旬までに各団体の養成講座が終了し、早い地区では7月下旬から訪問支援をスタートする。養成講座、訪問支援の利用に関する問い合わせは各団体。やまがた育児サークルランド023（673）9336。はぐくみ保育園0233（22）1276。にこっと0234（23）6330。スマイルハウス0238（21）3494。

目標に向けて意識を高める機会にしてもらおうと、11年度の目玉事業「ノーベル賞受賞者招聘（しょうへい）・講演会開催事業」を企画。町に来てくれるノーベル賞受賞者を探したところ、根岸さんが決

根岸さん招き講演会

金山で来月19日

根岸さんは町内の小学5、6年生、金山中生、金山高生ら約500人を対象に「夢のとびらー持ち続けることの大切さ」と題して講演する。また、町内4小学校をそれぞれ訪問し、児童たちにノーベル流を予定している。

特別講演会は午後2時から、一般聴講者200人も募集する（町民が優先）。参加無料だが、事前の申し込みが必要。問い合わせは町総務課総合政策係023（52）2111。平日午前9時～午後5時に受け付ける。

被爆者は「くれ、くれ」

広島市長が発言、釈明

広島市の松井一実市長が被爆者と面会した際、被爆者援そ。そういう気持ちを持つことが大切だ」と釈明した。

市によると、市役所で16日、被爆体験の手記を書いた被爆者と面会。その際、市長は「黒ある。にわかに信じ難い発言だ」と首をかしげた。

「復興五輪」と強調

入れ、招致に向けた準備を進めている。

都は09年に16年五輪招致に失敗。石原氏は今年4月の都知事選でも招致を公約として

若者の自立支援考えるセミナー

山形で26日、参加募る

不登校や引きこもり、ニートへの理解を深め、対応法などを学ぶ南東北3県合同フォーラム青少年自立支援セミナーが26日午後1時半から、山形市の遊学館で開かれる。参加者を募集している。

若者の支援活動を行うNPO法人東北青少年自立援助センター蔵王いこいの里（上山市）とヒューマンコミュニティサポートAi・うつみね健康学園（福島県）、ミヤギユースセンター（宮城県）が主催する。

3団体による事例発表に続き、参加者の質問に対して全員で考えるシンポジウムを開く。予防や回復のための具体的対応をアドバイスする個別相談会も予定している。参加無料。問い合わせは蔵王いこいの里023（679）4005。

（19日―26日）

【青森】19日（日）太宰治生誕祭（五所川原市・芦野公園太宰治銅像前）

【岩手】20日（月）岩手県が東日本大震災に伴い自殺総合対策本部を設置（盛岡市）

【宮城】20日（月）東日本大震災の被災者らを対象とした東北地方の高速道路無料化が開始（宮城県ほか）

本社見学（17日）

◇山形メディアタワー

▽村山市・県立村山特別支援学校楯岡校中学部2年生（9人）

展印象派と20世紀の巨匠たち～シャガール《テルトル広場》初公開～」「テーマ展示ダリ　人間への眼差し～《画家の母の肖像》初公開～」（～11月30日、北塩原村・諸橋近代美術館）